

I 第43週の発生動向 (2008/10/20~2008/10/26)

手足口病については、上十三保健所管内において、第37週から**警報**が続いています。

II 第43週五類感染症定点把握

注：五類感染症定点把握疾病の警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定しています。

疾患番号・疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)	東地方(再掲)		青森市(再掲)		定点数					
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点		数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点
(85) インフルエンザ															0										
(74) RSウイルス感染症	5	0.56	7	0.78	3	0.33	5	1.00						20	0.48	6			5	0.63					
(75) 咽頭結膜熱	2	0.22			1	0.11						2	0.50	5	0.12	3			2	0.25					
(76) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	17	1.89	9	1.00	3	0.33	2	0.40	4	0.67	2	0.50	37	0.88	18	2	2.00	15	1.88						
(77) 感染性胃腸炎	14	1.56	5	0.56	4	0.44	7	1.40	17	2.83	23	5.75	70	1.67	14	2	2.00	12	1.50						
(78) 水痘	8	0.89	6	0.67	9	1.00	5	1.00	1	0.17	4	1.00	33	0.79	6			8	1.00						
(79) 手足口病	12	1.33	10	1.11	7	0.78	7	1.40	18	3.00	1	0.25	55	1.31	-19	8	8.00	4	0.50						
(80) 伝染性紅斑															-2										
(81) 突発性発しん	8	0.89	1	0.11	2	0.22	1	0.20	7	1.17	2	0.50	21	0.50	4			8	1.00						
(82) 百日咳															0										
(72) 風しん	平成20年1月1日から全数把握疾患に移行しました。																								
(83) ヘルパンギーナ	2	0.22	3	0.33	2	0.22	3	0.60						10	0.24	-5			2	0.25					
(73) 麻疹	平成20年1月1日から全数把握疾患に移行しました。																								
(84) 流行性耳下腺炎	8	0.89	1	0.11			1	0.20					10	0.24	-3			8	1.00						
(86) 急性出血性結膜炎															0										
(87) 流行性角結膜炎	2	1.00	1	0.33	1	0.50	1	1.00	1	0.50			6	0.55	1			2	1.00						
(95) マイコプラズマ肺炎			1	1.00	10	10.00						2	2.00	13	2.17	9									

■ は警報 ■ は注意報 「空欄」：患者発生数0

III 表II以外の感染症法対象疾患

(注：届出数は速報値です)

- (9) 結核(二類全数把握疾患)：八戸4人、五所川原1人、上十三3人、むつ1人、青森市1人 (20年計:408人)
- (14) 腸管出血性大腸菌感染症(三類全数把握疾患)：八戸1人 (20年計:16人)
- (64) 後天性免疫不全症候群(五類全数把握疾患)：東地方1人 (20年計:5人)

IV 病原体検出情報

弘前保健所管内の平成20年10月21日採取の感染性胃腸炎患者1名の検査材料(便)からサポウイルスが検出されました。

感染症の感

マイコプラズマ肺炎

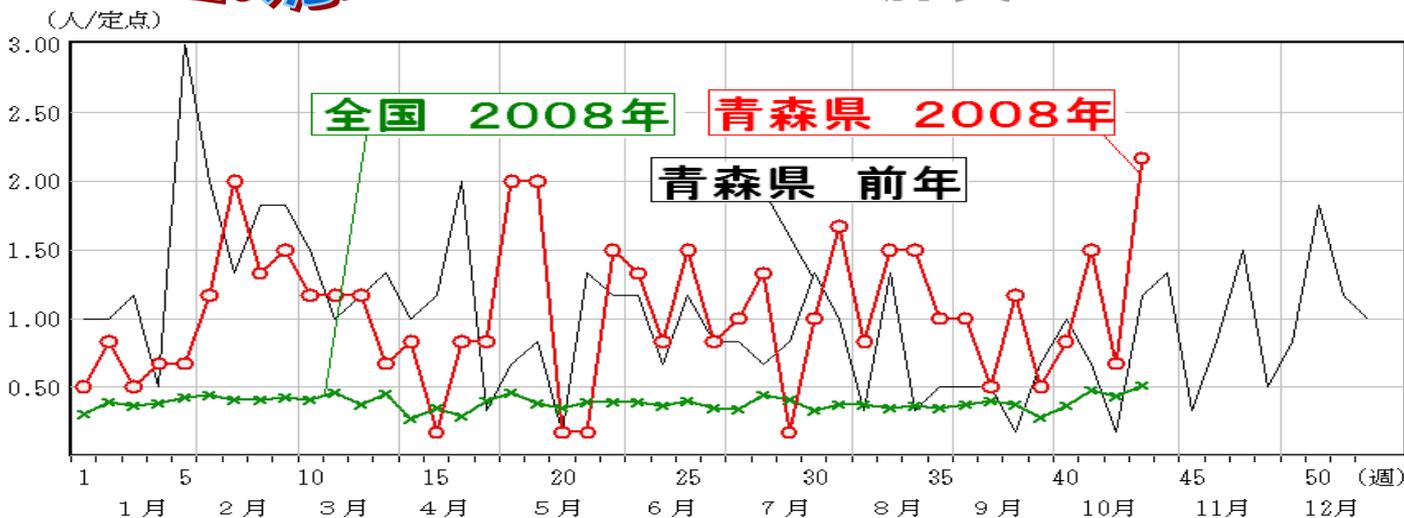


図 全国及び青森県における届出数推移

マイコプラズマ肺炎の定点あたり報告数は、10月上旬(41週)から、前年報告数を上回りながら推移しています(上図)。本疾患の原因病原体は、*Mycoplasma pneumoniae* です。好発年齢は、5~10歳ですが乳幼児や成人でも発症します。潜伏期間は、2~3週間であり、発熱、全身倦怠、頭痛の後に、**長期間(1カ月以上)の咳、胸痛**、かすれ声、耳痛、咽頭痛、消化器症状が起こる傾向があります。感染は、飛沫感染によることから、家族内や集団生活の中で流行します。流行時期には**マスクを着用**し、**手洗い、うがい**の励行が重要です。